
会報「花葉」発行にともなう協力金のお願い

日ごろより花葉会の事業にご協力いただきましてありがとうございます。深く感謝いたしております。

さて、花葉会では、千葉大学園芸学部花卉園芸学研究室を中心に、花卉産業界に携わる会員相互の親睦、研鑽と情報交換を目的に、会報「花葉」を発行してまいりました。

本来この会報の発行は、広告料収入により、印刷・郵送費等を充当し、会員の皆様には無料で配布することにしてまいりました。しかし、昨今の経済情勢のため、広告収入は減少し、資金的に逼迫しているのはご周知のことと存じます。

そこで、私どもといたしましても一層の合理化をはかり冗費の節約につとめる所存ですが、会員、読者の皆様には協力金の拠出をお願いする次第です。

また、今後とも「花葉」の内容につきましてはさらに充実させ、会の活動も一段と活発にしてゆくつもりですので、ご理解のほど、なにぶんにもよろしくお願いいたします。

なお、ご送金につきましては、同封の郵貯銀行振替用紙にて、下記の要領でお願いいたします。

花葉会幹事一同

- 1.振替口座番号：00150-9-13341 口座名：花葉会
 - 2.花葉会会報「花葉」発行協力金 3カ年分として 5,000円（「花葉」27号～29号）
 - 3.問合せ先：〒271-8510 松戸市松戸648 千葉大学園芸学部花卉園芸学研究室内 花葉会事務局
TEL & FAX:047-308-8810
-

編集後記

◆27号も多方面から貴重な原稿をお寄せいただき、ありがとうございました。深く感謝いたしております。

◆不況の大きな波を感じさせられる一年でした。ごく身近なところでは本誌「花葉」の広告収入が減少したこと。サマーセミナーは赤字であったこと。

◆さらに大きい波は、業界に押し寄せる重油高騰によるコスト高、アメリカの金融不況に端を発した世界的な不況等々。重油高騰は秋になって落ち着きを取り戻したものの、不況による需要

の落ち込みは出口が見えないと聴くと心配です。来年こそ、よい年でありますように。

◆「アメリカに変化がやってきた」と宣言したのはオバマ氏ですが、変ってほしいのは日本も同じ。いえ、変えなくてはいけないのだと思います。

◆今年の総会風景が少し変わりました。記録用にカメラを預けたのですが、まあ、楽しそうな顔がたくさん映っていました。幹事交代で若い幹事が入ってくれたこと、1000属検定の認定証授与が

あったために学生の参加があったことが大きいのだと思います。花葉会にも新しい風が吹きますように！

◆『花葉』の経費は、掲載していただく広告料と会員の皆様の協力金でまかなっております。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

◆花葉会ホームページ<http://www.kayoukai.net/>から『花葉』を読むことができます。また、『花葉』への寄稿は、ホームページを経由して、花葉会事務局宛でどうぞ。

花 葉 2008 No.27

平成20年12月10日発行

発行人 安藤敏夫

編集人 山田幸子

発行所 花葉会

〒271-8510 松戸市松戸648 千葉大学園芸学部花卉園芸学研究室内

<http://www.kayoukai.net/>

編集 (有)フローラルプランナーズチーム

製版・印刷 (株)インタラクシオン